



ステップアップ 畜産!

西部農業事務所 家畜保健衛生課 (西部家畜保健衛生所)

〒370-0074 高崎市下小島町 233

TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260



～記事～

- ★年末年始期間中の死亡牛 BSE 検査受付日程について
- ★アジアにおける口蹄疫の発生状況について
- ★腸管粘膜免疫と子牛の下痢症対策
- ★第51回 西部牛共進会の結果について (一部記事割愛)
- ★第27回 群馬県畜産共進会の結果について (一部記事割愛)
- ★第20回 関東地区ホルスタイン共進会の結果について (一部記事割愛)
- ★県内におけるアカバネ病サーベイランス検査結果
- ★農業用免税軽油の申請手続きが始まります
- ★令和5年度畜産 GAP 研修会動画の配信について (一部記事割愛)
- ★堆肥化作業は臭気の発生に配慮をお願いします



～別添資料～

- ★浅間牧場観光用展示牛 (県有牛) の導入について (酪農家さんのみ)
- ★アニマルウエルフェアに配慮した家畜の飼養管理等について
- ★農業用免税軽油の申請手続き

★年末年始期間中の死亡牛 BSE 検査受付日程について

死亡牛の牛海綿状脳症(BSE)検査は家畜衛生研究所で実施していますが、年末年始期間中の実施体制は下記のとおりですのでご了承ください。

12月				1月			
28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日
(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)
受付	受付	休み	休み	休み	休み	休み	受付

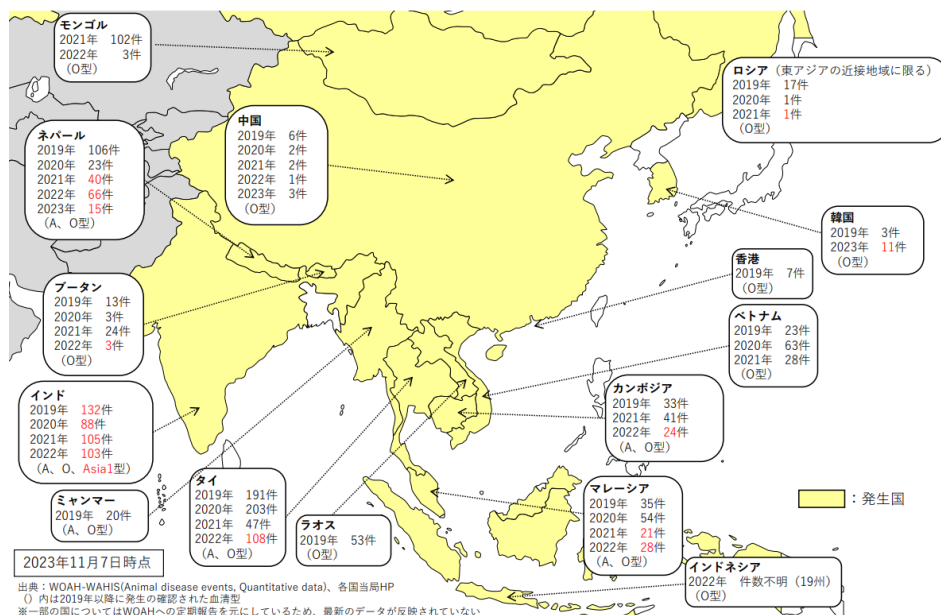
受付時間：午前9時～午後4時

所在地：家畜衛生研究所 前橋市富士見町小暮 2425-3

TEL：027-288-2106 FAX：027-288-2161

★アジアにおける口蹄疫の発生状況について

2023年の発生は、中国、韓国、ネパールで確認されています。訪日外国旅行者数は10月にはコロナ禍前を上回わり、韓国からの旅行者数が最も多くなっています。また中国の春節における休暇は2月10日から17日までとなっており、発生地域からの多くの人の動きがあります。



世界の家畜伝染病発生状況を注視しながら、引き続き、防疫対策をお願いします。

★腸管粘膜免疫と子牛の下痢症対策

牛コロナウイルスやロタウイルスによる下痢症が発生しやすい季節になりました。これらの病原体を体内に侵入させない重要な生体機能が腸管粘膜免疫です。これには安定した腸内細菌叢が重要な役割を担っているため、子牛の腸内細菌叢と免疫の関係を理解した飼養管理を行い、強い子牛を育てましょう。

子牛の免疫と腸内細菌叢の関係

【出生直後～1週齢】

初乳からIgG抗体を摂取することで 腸管からの感染症を予防



【1週齢～2か月齢】

自身の腸内細菌叢を形成し、これにより徐々に腸管粘膜免疫を発達させる (未発達段階)。

【2か月齢以降】

腸内細菌叢が定着、腸管粘膜免疫が発達し、腸管粘膜からIgA抗体を分泌させることで、病原体の体内侵入を防ぐ。

飼養管理のポイント

良好な乳量、乳成分を確保するために

- ・分娩前後3週間の母牛の栄養管理
 ※母牛の牧草 (βカロチン) 摂取量が少ないと子牛に下痢が発生しやすくなるとの報告あり
- ・分娩前の母牛へのワクチン接種
 ※移行抗体を期待したもの
- ・経産牛の冷凍保存した初乳や免疫グロブリン製剤の利用 (特に初産牛や乳用牛から生まれた和牛子牛)

腸管粘膜免疫の発達を促すために

- ・飼料成分と子牛の採食量にあった適切な離乳プログラム ※ルーメンの発達にも関与
- ・乳酸菌製剤の投与 ※IgA抗体産生増強効果あり
- ・ワクチン接種

腸内細菌叢に悪影響を与える要因の削減

- ・抗菌物質、ストレス
 ※非感染性の下痢への抗菌物質投与は、エンドトキシン産生や腸内細菌叢の乱れをまねき、症状を悪化させる。

★第27回 群馬県畜産共進会の結果について

令和5年11月16日(繁殖和牛)と20日(乳牛)に群馬県畜産試験場において開催されました。群馬県畜産共進会には繁殖和牛は56頭、乳牛は49頭の出品がありました。西部管内からも繁殖和牛18頭、乳牛16頭の出品があり、共進会を盛り立てました。

なお、乳牛の部では千葉県で開催される第20回関東地区ホルスタイン共進会の出品牛14頭を選抜しました。

西部管内出品牛の主な成績は以下のとおりです。

繁殖和牛の部

部別	入賞	名号	出品者

乳牛の部

部別	入賞	名号	出品者

★第20回 関東地区ホルスタイン共進会の結果について

令和5年11月15日から16日にかけて、千葉県家畜市場において第20回関東地区ホルスタイン共進会が開催され、本県から14頭が出品されました。

西部管内からは3頭の牛が出品され、詳細は以下のとおりです。

部別	入賞	名号	出品者

★県内におけるアカバネ病サーベイランス検査結果

わが国ではアルボウイルス感染症の流行状況を把握するため、全国的にサーベイランスを実施しています。本県ではアカバネ病の抗体検査を6～11月の間で経時的に実施しており、その結果、今季はアカバネ病抗体の上昇はみられず、県内でのアカバネ病の流行はなかったと推測されました。

★農業用免税軽油の申請手続きが始まります

農業用機械に使用する軽油は、事前に申請手続きを行うことで軽油取引税(32.1円/L)が免除されます。申請期間、申請場所は次のとおりです。

- 1 申請期間：令和6年2月1日(木)～20日(火)
- 2 申請場所：高崎行政県税事務所
詳細は、同封のチラシをご参照ください。

★令和5年度畜産GAP研修会動画の配信について

令和5年度畜産GAP研修会を令和5年8月31日にぐんま男女共同参画センターで開催しました。その時の研修会動画を「tsulunos」ウェブサイトに掲載しましたのでご視聴ください。

- 1 公開期間
令和5年9月11日～令和6年3月31日
- 2 内容
 - ① 畜産経営における農作業安全について
 - ② 奥羽牧場のJGAP認証(肉牛)の取組
- 2 動画URL

★堆肥化作業は臭気の発生に配慮をお願いします

畜産業に起因する悪臭苦情の主な原因のひとつに、堆肥化处理にともない発生する臭気があります。家畜ふんを堆肥化することは、雑草種子や病原菌を不活化したり、悪臭や汚物感を取り除くために必要な作業です。良質な堆肥を生産することで、より多くの耕種農家に利用してもらうことが可能となります。

堆肥化处理により発生する臭気が、周辺住民からの苦情の原因とならないよう、以下の点に配慮しながら、良質堆肥の生産に努めていただきますようお願いいたします。

○堆肥の切り返し作業を行う時の天候や時間帯を考慮する。

→作業時は臭気が最も発生しやすくなります。天気の良い昼間の時間帯には、太陽の熱で暖められた地表付近の空気が、上昇気流となるため、発生した臭気が周辺に留まりにくくなります。

○堆肥化前にしっかりと水分調整を行う

→ふんにおが粉等の副資材を混合することにより、ふん中の水分量を下げ、通気性を保つことで、好気的な発酵が進み、悪臭が発生しにくくなります。

○ふんと尿汚水はすみやかに分離する

→ふんと尿が混合されたまま放置すると、嫌気性微生物が増加し、悪臭が発生しやすくなります。ふんと尿は排せつされたら、早めに分離しましょう。

西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小島町233
TEL 027-362-2261 (緊急時 24時間対応) FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。